

# 九州朝陽会報

平成22年11月1日発行 第十三号

## 連載「新宿」の思ひ出

### 第四回 「六中つんつん節」

朝陽同窓会顧問・九州朝陽会特別会員

#### 佐藤 喜一(新1)

かつて新宿歌舞伎町の一隅に都立の女学校があったと聞くと、へえーっとおどろく方もおられるだろう。でも、たしかにあった。府立第五高等女学校。当時の地名は淀橋町角筈で、大正9年4月の開校。わが六中(大正11年開設)より少し古い。

同じ新宿でも駅を中心に南北に離れていたから、どの程度の交流があったかはわからない。私など昭和18年の入学生は「非常時」の生徒。繁華街など歩こうものなら、叱責された。

だから、同じ小学校から第五高女に進学した同期生と親しく食事をするようになるのは、昭和も終わりになっ

てからだ。しかし、こんな唄がある。「六中つんつん節」|| ご存知だろうか。会長の石井さんあたりは知っておられようが、若い方はいかがだろうか。

この唄、こう始まる。

♪僕は六中の五年生

胸に五つの金ボタン つんつん

私は第五の三年生

燃ゆる思いのセーラー服 つんつん

これが二十七行にわたって、続く。

「うた」の二人は親しくなる。将来を誓いあい、めでたく結婚した。「新婚旅行の汽車の中 ふれあう膝の恥ずかしさ」なんていう詞もある。やがて子宝にめぐまれそうに。男子なら断然六中に、女なら第五に入れよう。なんていう詞もある。

いつ頃、誰によって作られたのが定かでないが、私は戦時中、学校警備宿直の夜、二年先輩がベッドに横たわりながら、教えてくれた。いつ空襲警報が鳴るかわからない静けさの中で、先輩の歌う「つんつん」が、なぜか淋しくひびいた。

この「うた」、第五の卒業生の作家津村節子さんの『茜色の戦記』(93・新潮社)という作品にも登場する。第五は昭和20年4月、津村さんの卒業直後に空爆で焼失した。戦後間もなくは新宿区内の小学校校舎を転々としたが、中野富士見町に新校舎を建て、富士高校になった。戦後しばらくは生

徒会での交流があったようだが、学区の違いもあって、疎遠になったようだ。

私が教師として最初に赴任したのがこの富士高校。質のいい生徒たちに啓発され楽しい三年を過ごしたが、「つんつん節」は生まれなかった。

## 「連載」大分風物案内

### その一、滝廉太郎像

大分の出身、夭折滝廉太郎は「荒城の月」です。豊後竹田の岡城趾を謳ったこの名曲が音楽の教科書から消えるとのこと、これも、ご時世でしょうか。

県庁前の遊歩公園にあるこの像は、廉太郎と同郷、朝倉文夫の作です。じつは大隈重信像もそうなのです。わたくし、早稲田出ながら最近それを知りました。恥ずかし。

東京上野公園の奏楽堂前にもこの廉太郎像があります。朝倉文夫をもっと知るなら、近くの朝倉彫塑館にぜひお立ち寄り下さい。

私事で恐縮。58歳で会社を辞めました。仕事から解放され、残された人生を自由に生きようとの目論み。しかしそれは問屋が卸しません。訳あって、大分市の私立中高一貫校、岩田学園の理事長を引き受ける羽目に、運命です。生まれ育ち住み慣れた東京から大分に移り、早9年目を迎えました。ここは良い所です。住めば都。温泉や海の幸山の幸に恵まれ、気候温暖にして、台風知らず。この大分の風物をスケッチと駄文でご紹介致します。

## 「六中つんつん節」追記

山下美智恵(新29)

昨年の総会二次会。森氏のお店中州「ゴザック」で、佐藤一生先輩が水泳部仕込み(?)のこの唄を歌われました。佐藤

先生が書かれたように哀切なメロディーの繰り返しですが、歌詞は、六中×第五カプルの行く末を追う面白さでしみじみと聞き入っていました。

朝陽同窓会、旧から新への縦に長あ

## 成瀬 輝一(新12)



い世代を結ぶものとしての「うた」。佐藤先生「連載」の「思ひ」もここにあるのでは?と、今年の総会のリーフレットには、この「つんつん節」や旧制「中学校歌」、「六中五万節」の歌詞も掲載しました。当日は、突然のお願いでしたが、高田先輩には勇ましい「旧校歌」、佐藤一生先輩には情感たぎりの「五万節」「つんつん節」を模範歌唱していただき、皆さんも歌詞を見ながら「つんつん♪」と唱和くださいました。有難うございました。

## 二十二年度総会の総括

幹事長 小泉純理（新7）

今年度総会は、平成18年3月に新たな支部組織として発足し、その10月に最初の年次総会を開催してから5回目の総会になる。参加者は設立総会が32名で最多、18年22名、19年23名、20年23名、21年が18名であった。

幹事会としては参加者増を目指し、今年度は過去会員を含め、現在会員未登録の58名の九州在住同窓生にも、総会案内往復葉書を送付したが、ここからの参加者は皆無で、未返信者が33名という惨憺たる結果に終わった。

他方、会員からの参加者も20名（当日キャンセル2名実質18名）と例年並み。しかし会員73名からの未返信者は11名で、不参加者はそれぞれやむなき事由があることが察せられる。

現在の登録会員も、組織再発足から5年を経て、程度の差こそあれ同窓に対する絆意識を有する人々に限られてきたように思われる。そしてその数は転居、その他で入替わりはあるものの70名弱に落ち着きつつある。こうしたことから九州支部もようやく組織の基盤は確立されてきたと判断して良いのではなからうか。そしてこれからの組織の運営としては、いたずらに組織の拡大などを求めるのではなく、この組織の絆をより一層強固なものとし、組織の永続性を図ることである。具体的に言えば、登録会員がより多く組織の集まりに参加できるように、その趣旨、時期、場所、時間などを検討する。

そして自主的に組織への参入を希望する同窓生を受け入れるべく、会報などを通じて組織の情報公開、PRなどに努めることが肝要と思われる。

こうした視点から、今年度の総会参加者の中に特筆すべき三点があった。

・その一は小代伸博さん（旧21）の参加である。石井会長と小代氏の奥様がある会合で同席し、ご主人が六中に在籍されていたとの話から今回の参加に結びついた。氏が懇親会で自己紹介されたように、ご自身は六中4年の時、熊本に転居し、卒業は現在の熊本済々高校で、六中の同期生は旧21回卒業生になる。戦中の多感な青春時代を過ごした思い出深い新宿の同窓会に、今回、そして今後とも参加されたいのご希望で、厳密には同窓生ではないが幹事会も歓迎した次第である。

・その二は岡本稔幹事同期生の佐治尚雄さんが、在住の広島に同窓会組織がなく九州支部に入りたいがどうだろうかとこの問合わせがあった。佐治氏を通して、広島在住の同窓生にも自主的に参入者が出来れば今後とも大いに歓迎したい。そのため、会則の第4条に（3）項を加えた。

・その三は設立総会時と同様、本部派遣の吉村悟幹事長が新7回同期生3人を同行し、翌日からの人吉方面SL旅行の行きがけに、皆で懇親会に参加してくれたのである。これは総会をより賑やかにし、世代、地域を越えた同窓生の絆の深耕、思わぬ人脈の発掘など同窓生ならではの得難い成果も期待し得る。支部としては、彼らの旅行の

段どり、ガイドなど全面的に協力をした。こうした交流が、いずれ北海道あるいは東北と九州といったその他各支部間で折々実施され、それぞれの支部組織運営に関する情報交換がされるようになれば、素晴らしいのではなからうか。

今年度総会は定例の吉村幹事長による母校の現況紹介、新任の朝陽編集長西出紀久氏の挨拶を最後に1時間で終了。続いて世代ごとの4テーブル間をそれぞれ行き来し、2時間の楽しい懇親会。最後に「校歌」「健児のうた」の全員による斉唱で散会となった。

### 【参加者】敬称略

高田勇 旧18） 小代伸博 旧21）  
石井幸孝 新3） 豊田信夫 新了）  
小泉純理 新了） 神武節子 新了）  
蜷木陽子 新8） 森重夫 新10）  
成瀬輝一 新12） 大羽宏一 新13）  
岡本稔 新14） 佐治尚雄 新14）  
野上秀昭 新15） 佐藤一生 新16）  
小山春美 新25） 小林牧 新28）  
山下美智恵 新29） 白井康生 新47）  
特別参加者）  
吉村悟、小出富江、伊藤千秋、三橋宏  
以上新了、西出紀久 新15）

## 事務局からのお知らせ

### 平成21年度決算

決算書に記載どおり三六、五四三円の繰越金をもって決算し、豊田信夫監査役による会計監査を受けました。

### 会員の動静

会員名簿のとおり平成22年10月1日現在会員は70名（正会員66名、地域外会員3名、名誉会員1名）です。

### 退会

針浦 義達（旧15）

平成22年2月29日ご逝去

菖蒲 公治（新30） 会則第11条

植村 伸宏（新10） 会則第11条

本村 久（新4） 会則第11条

### 入会

小代 伸宏（旧21） 会則第4条（3）

佐治 尚雄（新14） 会則第4条（3）

### 年会費徴収（千円）

今年度年会費について、振込取扱票を同封した方は未納ですから、この用紙

によって納付してください。なお昨年度年会費については4名の未納者があり、残念ながら内3名が退会となりました。

### 次期総会開催について

「22年度総会の総括」にも記しましたが次年度総会開催について、より多くの方に参加していただけるよう、会員各位のご意見、ご希望、アイデアなどを事務局までお寄せください。

事務局

### 【発行元】

九州朝陽会事務局  
〒811-3221  
福津市若木台1-20-7  
TEL&FAX:  
0940-43-5545

### 【事務局長】

小泉純理（7回）  
E-Mail  
kjun612@nifty.com

### 【編者】

山下 美智恵（29回）